令和8年度　「全国学力・学習状況調査」の分析結果と今後の取り組みについて

令和8年 10 月9日
小城市立　桜岡小学校

４月に行われた全国学力・学習状況調査（６年国語・算数）の本校の結果をお知らせします。全国調査での生活習慣に関する意識調査について、数値が高かった項目と低かった項目を挙げ、分析と今後の取り組みについてまとめました。また、国語と算数については、学習指導要領の内容別の主な課題と改善に向けた取り組みについてまとめています。

〔　調査結果のポイント　〕　◆（課題）　⇒（改善に向けた取り組み）　◇（成果）

①＜６年生＞　佐賀県の傾向として以下の事項が報告されています。

国語

◇文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることについては、成果が見られた。
◆引用して、自分の考えが伝わるように書き方を工夫することに課題が見られた。
⇒引用した文章や図表等の出典については明記が必要であることや、引用する部分を必ず（「」）でくくることを指導する。

算数

◆面積や体積などの量の概念（広さ、大きさ、かさ）等の理解に課題が見られた。
◆基準量、比較量、割合など、二つの数量の関係について考察し、その関係を適切に表したり捉えたりすることに課題が見られた。
⇒身の回りの面積や体積を量の単位と関連付け、量の概念をイメージできるように、手を動かして図形の性質を確かめることができるような操作活動を設定する。
⇒条件や数値を変化させて、繰り返し考える場面を設定し、数量の関係についての理解を深める活動や、数量の関係などを図や表に整理して考察する活動を設定する。

②＜５年生＞　佐賀県の傾向として以下の事項が報告されています。

国語

◇叙述を基に文章の内容を捉えることは、成果が見られた。
◆自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして文章を書くことは課題が見られる。
⇒情報から分かる事実と、そこから考えたことを関連付けながら「なぜなら」「その理由は」「例えば」など、自分の考えと根拠を結びつけて書き表し方を工夫する活動を取り入れる。

算数

◇示された考えをもとに、180°より大きい角の大きさを求めることができる。
◆６年生と同じ。

〔本校各学年の正答率について〕

２ページからの分析結果・自校の課題と改善にむけた具体的取組みをご覧ください。

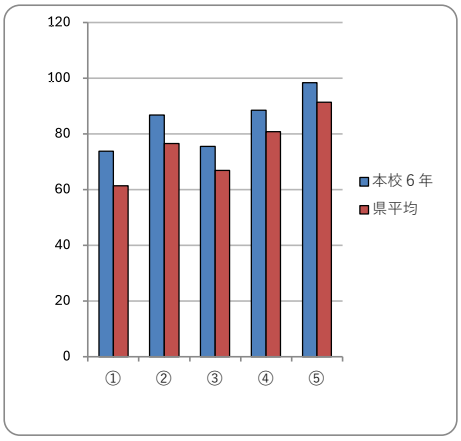
〔今後の取り組みについて〕

本校では８月に職員研修を行って今回の結果を詳しく分析しました。その分析結果をもとに２学期以降の授業改善等に生かして、学力向上を図っています。家庭学習の具体的な取組み・お願いについては６ページに掲載しております。ご理解ご協力よろしくお願いします。

《６年意識調査》

【数値が特に高かった項目】

	調 査 の 項 目
①	5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか
②	総合的な学習の時間では、PCやタブレットなどのICT機器を使って、うまく情報を集めたり、整理したり、発表したりできていますか
③	英語の勉強は好きですか
④	5年生までに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか
⑤	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



【分析】

・校内研究の積み重ねにより、目標達成に向けて試行錯誤し、どうすれば解決できるかを自ら考えながら学習を進められる児童が増えています。また、「個別最適な学び」を意識した授業づくりを行うことで、1人で考えたり友達と協力したりと、子どもが自ら判断して学習形態を選択する姿も見られるようになってきました。今後も、子どもたちが主体的に学習に取り組める授業づくりを推進していきたいと考えています。①④

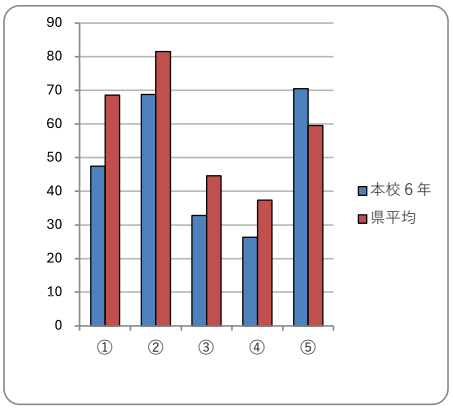
・ICT機器は、総合的な学習の時間にとどまらず、様々な教科で活用されています。調べ学習だけでなく、資料作成や発表といった場面でも効果的に使われているため、今後もこの取り組みを継続していきたいと考えています。②

・外国語科の学習では、外国語専科とALTの教員が協力し、工夫を凝らした授業が行われています。これは、専科授業ならではの強みや成果が表れているものと考えられます。③

・本校では、「自己有用感」を高める教育の推進に取り組んでいます。子どもたちに「先生たちはたくさん褒めます」と宣言し、教職員が積極的に児童を褒めるよう意識してきました。学校行事の時はもちろん、日頃の学校生活から子どもたちの良さを認め、励ます関わりを今後も継続していきたいと考えています。⑤

【数値が特に低かった項目】

	調 査 の 項 目
①	困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか
②	あなたの学級では、学校生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか
③	将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいですか
④	学校での悩みについて、あなたの親や家族は、どれくらいあなたと話しますか
⑤	普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間スマートフォンや携帯電話、パソコン、タブレット、ゲーム機、テレビ等でSNSや動画視聴などをしますか（スマートフォン等を使って学習する時間やゲームをする時間は除く） ※この項目は1日2時間以上視聴している児童の数を比べているので、グラフが逆転しています



【分析】

・児童が周りの大人に相談できる環境づくりは極めて重要です。学校は、子どもたちが1日の中で最も長い時間を過ごす場所だからこそ、安心して相談できる場所になれるよう、児童との関係づくりを含めて、私たち教職員が何ができるかを常に問い直し、一人ひとりに寄り添っていく必要があります。また、家庭でも学校での様子を聴いていただき、子どもたちの状況を把握しながら、学校と家庭が手を取り合って連携していきたいと考えています。①④

・話し合いを通して問題解決を図ることは、集団活動において極めて重要です。特定の意見だけに偏るのではなく、全員が意見を出し合い、よりよい学校生活を創り上げられるよう、今後も話し合い活動を大切にしていきたいと考えています。②

・上記の結果からもわかるように、外国語の学習が好きな児童が多い一方で、生活の中や職業として英語を使いたいと考える児童は少ない状況です。子どもたちが「将来、自分が英語を使うイメージ」をもてずにいることが推測されるため、今後はキャリア教育とも連動させ、将来の仕事や生き方と英語の結びつきを意識できるような働きかけをしていきたいと考えています。③

・日頃からSNSや動画を視聴している児童が非常に多く、1日4時間以上視聴しているという児童も少なくありません。家庭での学習時間を確保するためにも、動画視聴やスマートフォンの利用に関する約束について、各家庭でお子さまと再度確認していただく必要があります。また、SNSを巡るトラブルの未然防止に向け、学校でも情報モラル（ネットリテラシー）教育を行うなど、適切な対策を講じてまいります。⑤

◆学力・学習状況調査から

《　６年生　国語科　》

全体の概要

・教科としての正答率は、県平均をやや下回っています。
・「知識･技能」の分野は県平均をやや下回っています。
・「思考･判断･表現」の分野は県平均をやや下回っています。

観点	分析結果・自校の課題	改善に向けた具体的取り組み
知識・技能	◆選択式の問題で、比喩や反復などの表現の工夫に気付く問題の誤答が多かったです。言葉の特徴や使い方に関しての学習が必要です。 ◆情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことについての誤答が多かったです。	・写真や映像、音声等の資料がどのような効果を生み出しているのかについて話し合うような授業を仕組んでいきます。 ・自分の考えを表現したり整理したりするために図や表を用いて書き表して説明する活動を取り入れます。
思考・判断・表現	◆数ページにまたがった長文の問題文をしっかりと読み、何をたずねられているかを把握して答えるような読み解く力が弱いです。 ◆複数の資料を比較して読んだり条件を関連付けて読んだりすることが苦手だと思われます。 ◆文章の要旨を捉えてまとめることが難しく、条件に合わせて記述する力が身についていません。	・学校や家庭で読書をする時間を意識的に設定し、長い文章に触れる機会を増やします。問題文をただ目で読むだけではなく、必要な部分に線を引いたり、明らかに違う選択肢は省いて印を付けたりする等、解き方も確認していきます。 ・他教科においても資料の読み取りの際には、複数の資料を条件を関連付けて読んだり、それを用いて問題を解いたりする等の学習活動を取り入れていきます。 ・各教科授業の終わりに、いくつかの条件をつけて振り返りを書いたり、学習のまとめをしたり、書く活動を取り入れていきます。

◆学力・学習状況調査から

《　６年生　算数科　》

全体の概要

・教科としての正答率は、県平均とほぼ同じです。
・「知識･技能」の分野は県平均とほぼ同じです。
・「思考･判断･表現」の分野は県平均とほぼ同じです。

観点	分析結果・自校の課題	改善に向けた具体的取り組み
知識・技能	◇帯グラフの特徴と使い方を理解し、およその割合を読み取ることができています。 ◆直方体の箱の形を構成する面について、理解ができていないと思われます。 ◆基準量、比較量、割合の関係の読み取りについて、理解ができていないと思われます。	・図形の敷き詰めや立体の作製など、実際に自分で具体的操作を行いながら確かめる操作的活動を取り入れていきます。 ・１めもりがいくつになるのか、基準量の１と見るのがどの部分になるのか、数直線だけではなく、テープ図や表、様々なパターンで読み取る練習を取り入れていきます。
思考・判断・表現	◇示された２つの表から集計に誤りのある項目を見付け、その根拠を表の中の数と言葉を用いて記述することができています。 ◆日常生活の問題を解決するために、図形を構成する要素に着目して直方体の３つの辺の長さを捉え、示された条件を基に、調べたい数量の求め方を数や言葉を用いて記述することができていませんでした。 ◆異分母の分数の大小を判断し、その理由を数や言葉を用いて記述することができていませんでした。	・様々な情報の中から、必要なものだけを選んで問題を解き、自分の言葉で「はじめに・次に・だから・なぜなら」など説明の流れ（型）を示し、論理的に自分の考えが説明できるようにしていきます。 ・分数の意味理解を大切にしながら授業を行います。分数は、様々な観点の置き方によって様々な捉え方ができることを確かめ、言葉で表すとどのように説明ができるのかなどを授業のまとめやふりかえりで自分の言葉としてまとめるようにしていきます。

R8　これからの取り組み

1年	・ブロックやおはじき、形カードなど具体物での操作活動を大切にする。 ・概念を必ず言葉で説明できるよう、アウトプットの時間を確保する。 ・学習したことが身に付くように、日々の宿題やドリル学習などで繰り返し練習し、学期末などに復習して定着を図る。
2年	・問題文だけではなく、テープ図を見て、１つ分、いくつ分など、基準量や比較量に着目させて考えるような図を用いた問題に取り組み、理解を深める。 ・図、式、言葉を用いて、友達と一緒に考えながら、最終的に自分の言葉で説明できるようにアウトプットの時間をつくっていく。
3年	・文字数や条件を与えた文章を書く練習や、話の段落分けや構成を考えながら要約をする練習を行う。 ・１つ分、１㎠、１㎥などを身近なものに置き換え、生活の中での実感を伴うような学習を意識的に取り入れる。
4年	・目的に合わせて要約する練習や、根拠となる文や言葉に線を引いて、自分の考えの根拠を示しながら説明する練習を行っていく。 ・国語でも分かった情報を表にまとめる活動を取り入れ、図や表を使うことに慣れさせる。
5年	・インプットとアウトプットを取り入れる学習形態を仕組み、論理的に根拠を明確にして思考するような学習を継続していく。 ・日常生活で活用できる場面を想定して問題を解くことを意図的に取り入れる。
6年	・意図的に必要のない数を問題文や図の中に入れて、必要なものだけ選択して解答するような問題を解かせる。 ・自分で図やグラフや表をかく、それを用いて自分の考えを説明するなど、相手にわかりやすく説明するための手立てを意識させる。
級外	・同等、対比、因果の読解力を身につけさせていく。単に要約をさせるのではなく、観点を与えながら要約や読解を行う。 ・ICTを活用しながら更なる表現の活性化を図る。 ・学年の系統性を踏まえ、前学年の振り返りを行うことで既習事項の確認も行いながら授業を進めていく。
保護者・家庭の協力を得ること	○家庭学習の時間の確保（1・2年：30分　3・4年：45分　5・6年：60分）を『家庭学習のてびき』を使って呼びかけ、より関心をもってもらいながら協力体制を構築していく。

◇　桜岡小児童の家庭生活・家庭学習の充実について　◇

～　全国学力学習状況調査　意識調査結果より　～

○これから子ども達の成長と学ぶ力を伸ばしていくために

○自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章などを工夫している児童が、県平均や全国平均と比べてとても多く見られました。



☆家庭学習には、自主学習の勉強も出ていると思います。自主学習は、学習したことや調べたことなどをわかりやすくまとめ、自分で工夫を考えて進められる学習です。学校の児童玄関には、自主学習が上手にまとめられているものを掲示されているので、それも参考にしながら、工夫した自主学習ノート作りにこれからも取り組んでほしいです。

●学校での悩みについて、お家の方となかなか話せていない児童が多かったです。



☆親も子どもも共に忙しい時代です。しかし、思春期の子どもたちは、日々勉強や人間関係など、様々なことに悩むこともあると思います。よかったら各ご家庭の事情に応じて、週に1回でもお子さんとゆっくり話す時間の設定をしていただけるとありがたいです。学校でも2学期に「教育相談旬間」を設定して、子どもたち1人1人と話をする時間を設定したいと考えております。

●スマートフォン等で SNS や動画を2時間以上視聴している児童が多かったです。



☆4月初めに、小城市の青少年育成市民会議事務局より、「わが家のスマホルールカード」が配布されています。その中には、ルール作りのポイントや保護者ができることなども書いてあります。家族で話し合いを行って、もう一度、スマホルールについて考えてみられてはいかがでしょうか。
ちなみに、1 日の家庭学習の目安は、1･2年生：30 分／3･4年生：45 分／5･6年生：60 分（学習の手引きより）となっております。合わせて、家庭学習の時間が確保されるよう、ご家庭での子どもたちへの声かけもよろしくお願いいたします。

○工夫した自主学習への取り組み
⇒家庭学習を充実したものにするためにも目安の時間に満たないときには是非取り組まれてみてください。
○忙しい毎日ですが、時間を見つけて、親子で話す時間の確保をお願いします。
○　各ご家庭で「わが家のスマホルール」を作成していただき、長時間の視聴になりすぎないように子どもたちへの声かけをお願いします。